

# 破天荒

教宣部

4978号

2014年  
9月24日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合

# 秋闘要求提出

## お知らせ

10月6日(月)  
秋闘回答指定日団交

10月22日(水)  
一時金臨大(予定)



定期大会も無事終了し、先週の十八日には秋闘要求団交を開催しました。会社として十月六日の指定日に回答できるよう努力することでした。

要求の骨子としては、

破棄された労働協約の復活

当時の状況を知る労務担当が居なくなっても会社は「破棄した時と考え方に変わりはない」「問題は発生していない」としていますが、会長・社長も代わり職場環境も変わった現状にあわせて整理するという意味も含め文書化が必要だと思います。

福利厚生行事の補助金の増額と行事内容・予算配

分・対象者

協約で毎秋闘時に交渉することになっていきます。スポーツ施設借用の利用率を上げるため千五百円一人(但し複数)。親睦会の行事補助などを求めていきます。補助対象者にパート・嘱託を含めるよう要求します。

増 定年退職金の特別加算

確定給付企業年金移行時に会長が前文で書いておられたように退職金は長年の慰労であり、定年まで勤め上げた人間への加算要求です。

国内出張旅費の改正

会社も実費支給+ご苦労さん代だと発言していません。消費税が8%となり必要経費も確実に上がっている現状をどう考えているのか聞いていきたいと思えます。

特別休暇制度の半日取



得

特別休暇の半日取得を要求します。増日が無理なら、せめて半日取得を認めることにより回数が増やせまうしニーズの把握ができるという趣旨で要求します。

長期私傷病欠勤後のメンタル不全の復職後の処置 昨秋には休職期間増で要求しました。会社は「復職後の対応が重要」と発言されてしまったので復職後の養護について要求します。

脳ドック検診の実施

脳ドック料金も日帰りドックと併用すれば二万五千円と安くなりました。エンジでは予防医療費の範囲で制度化されているそうです。特に定年前という部分で全額会社負担での要求をします。

完全週休2日制の実施

次年度カレンダーも協約で毎秋闘時に交渉することになっていきます。今年も夏季休暇増、年末休暇増は見送り完全週休二日制という要求にしました。

年休の積立制度の新

設・年休の時間単位取得(5

日間)の制度化

昨秋には管理が大変という理由で拒否されました。時間単位取得を残業簿のようにつけてはどうかという提案と、育児・介護に利用しやすい制度を求めたいきます。年休の積立制度に関しては、多目的ではなく特別休暇の補てんと育児・介護休暇に使用できるように目的を限定しました。

裁判員休暇の有給扱い 有給での特別休暇とすることが企業としての社会的責任であると訴えます。 定年退職後の再雇用について

六十歳以降夫婦二人の生活を考えて賃金となるよう要求し続けています。

今年の要求の特徴として、前年と比べ3:7要求、住宅ローン利子補給、貸付金、法定外補償一時金、医療費補助のプール制、休職事由のメンタル不全、育児・介護休暇の有給扱い、リフレッシュ休暇、年休増、年末休暇増、35年以上の定年退職金特別加算などどれも大切な要求ですが見送りました。

組合が求めているのは要求もですが、それ以前に交渉する会社姿勢なのかもしれない。

2014年度新役員

執行委員長

稲岡 幸雄

副執行委員長

杉浦 陽一

書記長

川北 幸輝

会計

川口 喜弘

執行委員

松林 浩

福井 晃

会計監査

柳川 瀬忠

西村 浩一郎

## 消火器

先日の防災訓練で私は消火班だったので、全体訓練後、実際に消火器(訓練用に内部の液体は水でしたが)を使用した訓練もありました。先ず上部の安全弁(黄色)を抜き、ホースを火元に向けてレバーを握ると放射するので、3~4m程度しか届かない。また機種によって一旦レバーを握ると中身が空になるまで出続ける機種もあるとのこと。 今回の訓練で、消火器の機能が実体験でき、緊急時落ち着いて使用できる心構えが持てました。